

厚真町上幌内モイ遺跡



集中区1 遺物出土状態 (約1,000年前 擦文文化期儀礼場跡)



集中区1 土器・須恵器・土製品・石製品・鉄製品・礫・炭化食物

※一部指定に含まれない土器片あり

破碎後の二次被熱資料など火の神（アペフチカムイ）へのカムイノミの源流を示す道内最古級の考古資料群。



銅銚、被熱骨角器素材出土状態



炭化食物（キビ塊）出土状態

集中区2 遺物出土状態（約 1,000 年前 擦文期儀礼場跡）



集中区2 土器・鉄製品・銅銚・石製品・骨製品・炭化食物・礫

全て二次被熱の資料



集中区2 土器・鉄製・銅銚・炭化食物など

銅銚は朝鮮半島産で、当時の貴族が用いる高級輸入食器（4個体分が出土）



3号墓（約900年前 擦文文化期） 遺物出土状況及び土器・金属製品・黒曜石転礫
擦文文化期の人骨を伴う土坑墓は道内数例に限られる。黒曜石転礫の副葬は次のアイヌ文化期への精神文化の連続性を示す貴重な資料。厚真町で初めて判明した重要な成果。



上：1号墓（約400年前アイヌ文化期）
完掘状態

右：1号墓 刀剣類・骨製品など
鍔覆輪は猪の目透かしの銀象嵌装飾



2号墓（アイヌ文化期）検出状態

2号墓 鉄鍋（底部）と刀子

厚真町オニキシベ2遺跡



1号墓（約700年前 アイヌ文化期）完掘状態



1号墓副葬品出土状態

出土状態より木棺埋葬のアイヌ文化期最古級の出土例



1号墓 鏝状銅製品・ガラス玉・メノウ玉・古銭

鏝状銅製品は平安後期の和鏡再加工品で、アイヌ文化における鏝の魔除け信仰成立を示す最古の出土例。メノウ玉類はアムール川流域との交易を示す道内2例目の出土品。

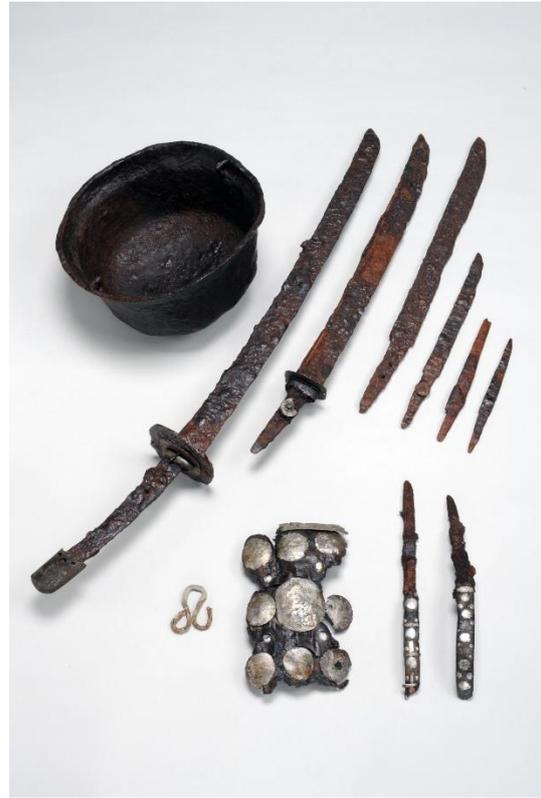


3号墓（アイヌ文化期）完掘状態



3号墓副葬品出土状態

出土状態より木棺墓埋葬。13世紀の鉄鍋、銀装飾の飾り矢筒は道内最古級。



3号墓 刀剣類・鉄鍋・矢筒・耳飾り



3号墓 銀装飾の飾り矢筒と刀子



平取町立アイヌ文化博物館の矢筒

矢筒は角九曜文（左）で、現在のアイヌ民具に受け継がれている文様構成（右）であり、約700年間も受け継がれているアイヌ文化の伝統を示す貴重な資料。



4号墓 刀剣類・縫い針・古銭・黒曜石

アイヌ文化期へ受け継がれている黒曜石信仰

厚真町上幌内2遺跡 (約800年前 アイヌ文化期)



2号墓 完掘状態



2号墓 副葬品出土状態



2号墓 刀剣類・銅装飾品・骨製品



4号墓 完掘・副葬品出土状態



4号墓 腰刀



4号墓 刀装具 (鍍金)



4号墓出土腰刀 復元品（製作 実証的甲冑武具復元工芸家 上野修路氏）

鎌倉時代・室町時代の絵図と全く同じ腰刀。金装飾の腰刀は上級御家人の所有物で、絵図と全く同じものが出土したのは全国でも厚真町のみ。アイヌ民族の交易力を示すとともに、日本刀剣類研究学会でも注目されている貴重な資料。



5号墓 完掘状態

写真上部の頭部付近からの首飾り、両腕からの腕輪、右手付近に黒曜石転礫が出土。



5号墓 副葬品出土状態



5号墓 頭部付近副葬品出土状態

道内最古のタマサイ（首飾り）出土例。装着状態での出土例も国内唯一。金属製品装飾はアイヌ文化特有の生活文化。



5号墓 首飾り・環状製品・和鏡・銅製品・古銭・ガラス玉

ガラス玉は近年の研究により福岡県産、和鏡は京都産、コイル状装飾品は北方大陸産とされている。コイル状装飾品は国内最多数の出土例。



5号墓 和鏡

平安時代後期の道内最古の和鏡（秋草双鳥鏡）



5号墓 腕輪

全国3例目のワイヤー製腕輪。北方大陸産。